

令和6年度スマートハウス普及促進事業実施業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨

項 目		内 容	
1	日 時	令和6年3月28日 14時00分から15時10分まで	
2	場 所	オンライン	
3	出席委員	環境県民局環境政策課長 県立総合技術研究所保健環境センター環境研究部長 環境県民局循環型社会課長 土木建築局建築課長 土木建築局住宅課長	
4	議 題	令和6年度スマートハウス普及促進事業実施業務の企画提案内容の審査	
5	担当部署	環境県民局環境政策課	
6	開催方法	オンライン	
7	議事内容	1 審査方法 提案された企画提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最優秀提案者を選定した。	
		2 審査対象者 A社 株式会社ザメディアジョン B社 株式会社エフツー	
		3 質疑応答	
		委員質疑	A社回答
		情報収集先の候補に、「関係性のある244社以上の事業者」とあるが、どのような構成か。	工務店が約半数、リノベーション、リフォーム会社が約半数。
		県民への情報発信はどのような方法を考えているか。	当社のメディア媒体（雑誌、Web、相談カウンター）を活用する。
		セミナー等で事業者にどのようにアプローチすることを考えているか。	学識者による専門家の観点からの講義と現場での実践者からの講義を考えている。
委員質疑	B社回答		
断熱改修を普及させる上で何が重要と考えるか。	断熱には様々な種類があるため、窓断熱だけでなく、壁や床等の断熱の必要性も県民や工務店等に分かってもらうことが重要と考える。		
ホームページ作成のコンテンツはどのようなものを考えているか。	断熱改修のコストメリット等が県民に分かりやすい資料を作成する。		

実施体制はどの様に考えているか。	提案書に記載のとおりであり、十分な人数で対応する。
------------------	---------------------------

4 審査結果

(1) 審査対象者の評価値

別紙のとおり

(2) 最優秀提案者及び評価・選定理由

ア 最優秀提案者

株式会社ザメディアジョン

イ 選定理由

評価基準に基づき、選定委員会において審査を行った結果、総合評価点が最も高かったため。

ウ 主な評価項目

【株式会社ザメディアジョン】

- ・断熱改修のメリット等に関して既に十分な知見を有していることに加え、業界団体や専門家との連携を活かした情報収集が期待できる。
- ・特に web コンテンツ作成に関して専門性があり提案も具体的である。また自社所有のメディア媒体を活用した情報発信も期待できる。
- ・イベントは、窓断熱と断熱材について、実験による体験でそのメリットを感じてもらおうよう工夫されている。
- ・セミナーは、経験に基づき、専門家と工務店両者からのアプローチやパネルディスカッション等、有効な手法の検討がされており評価できる。
- ・計画的かつ現実的なスケジュールが提案されている。

【株式会社エフツー】

- ・断熱改修のメリットに加え普及に係る課題を前年度の補助事業に係る顛末を踏まえ極めて深く理解している。
- ・デジタルコンテンツの作成は、実績もあり具体的に提案されている。
- ・イベントは、断熱模型により、分かりやすくそのメリットを感じてもらおうよう工夫している。
- ・セミナーは、具体的日程をあげられており実効性が高いが、集客に関し業界団体への依存が高いように感じられる。
- ・事業者向けの普及推進の観点から具体的な課題提起と事業スケジュールが提案されている。